
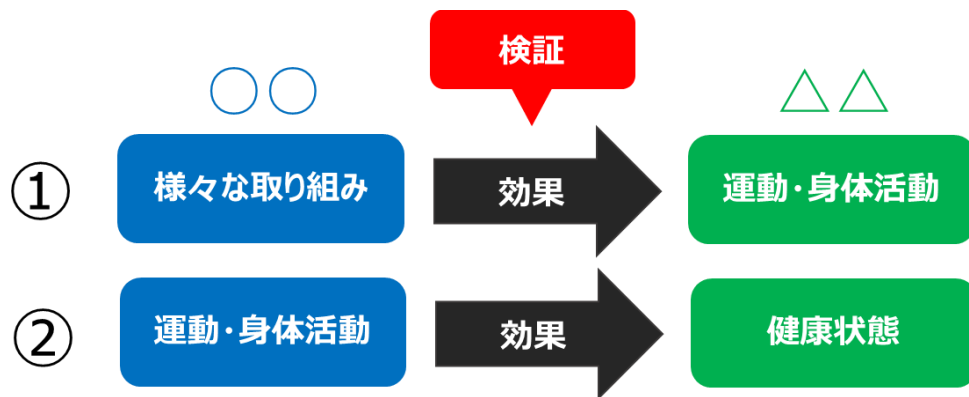


氏名・職名	安藤 大輔 准教授	
キーワード	運動 身体活動 スポーツ	
所属学会	日本体力医学会、日本運動疫学会、日本公衆衛生学会、日本疫学会 他	
受賞歴	日本体力医学会賞(共著)(2013) 日本体力医学会奨励賞(共著)(2016)	
研究者から一言	<p>私は現在、主に運動不足・身体活動不足の解消をミッションとして研究を進めています。その一方で、これまでにない新しい取り組みや事業を進めない限り、このミッションをクリアすることは難しいと感じています。</p> <p>・このミッションに関心のある皆様: 貴社の技術やサービス、ノウハウを日本のみならず世界的に問題となっている運動不足や身体活動不足(身体を動かすことの不足)の解消に関連した製品開発や各種企画などに繋げてみませんか。その製品等の効果検証をお手伝いします。少しでも興味がございましたら、お気軽にご相談ください。</p>	

私の専門分野を大きくとらえると、

○○が△△に及ぼす**「効果」**を**「検証」**することです。
これまで主に 2 つの視点から研究を進めてきました。



○○や△△には様々なものが入りますが、現在の研究室の主たるミッションは特に①の**「運動不足・身体活動不足の解消」**

であり、どのような取り組みが運動不足・身体活動不足の解消に効果的かを模索しています。

①を介して②までも改善という範囲を含めた共同研究を想定したテーマの例として

○○は「新規に開発した携帯アプリ」、△△は「身体活動量(歩数)」

○○は「新規に開発した活動量計」、△△は「肥満の解消」

○○は「新規に開発した運動器具」、△△は「体力向上」

といったことが考えられます。

「運動不足解消」を目指した〇〇〇の**効果検証**
「身体活動促進」を目指した〇〇〇の**効果検証**
「スポーツ実施率向上」を目指した〇〇〇の**効果検証**

〇〇〇には様々な手段が考えられます。

研究者としての専門はその〇〇〇に入る**製品や企画**の**効果検証**ですが、開発段階でもこれまでの経験を活かしたお手伝いが可能です。

例：ウェアラブルデバイス

・運動不足解消のためのウェアラブルデバイスの開発支援とその効果検証

例：スマートフォンアプリ

・身体活動促進のためのアプリの開発支援とその効果検証

例：ポータルサイト

・スポーツ実施率向上のためのポータルサイトの開発支援とその効果検証

適用、活用できる分野のイメージ

□活用できる分野

スポーツ関連産業／健康関連産業／運動用具製造業／
機械器具製造業／電子機器製造業／通信機器製造業／
情報通信業／情報サービス業／ソフトウェア業／
インターネット付随サービス業／娯楽用具・玩具製造業
など

技術シーズについてのお問合せ、ご相談先

E-mail: renkei-as@yamanashi.ac.jp

Tel: 055-220-8758 Fax: 055-220-8757

